

旬刊 勤勞の生活 毎月二回一日一五五発行 定価一冊二十五銭 一月二十五銭 一月五十銭 場所指定五十銭 福島縣南大町八番地 編輯兼發行人 木村安次 行印刷人 木村安次

財産税 個人は最高七割 法人は一割以上四割

政府は客年十二月廿八日及び廿九日の閣議に於て財産税関係三法案を附議決定、廿一日閣議を聯合閣司令部に提出したがこれら三法案のうち最も多くの税収を見込まれてゐる財産税法案の個人課税最低限は二萬圓又税率は大体次の如く決定し、右以外の法人は百分の十、納税手段にあつては納税額を以て、納税額が正に決定した場合は、過不足を計算して超過徴収分に利子を付して納税者に返還することとなつてゐる。

政府は客年十二月廿八日及び廿九日の閣議に於て財産税関係三法案を附議決定、廿一日閣議を聯合閣司令部に提出したがこれら三法案のうち最も多くの税収を見込まれてゐる財産税法案の個人課税最低限は二萬圓又税率は大体次の如く決定し、右以外の法人は百分の十、納税手段にあつては納税額を以て、納税額が正に決定した場合は、過不足を計算して超過徴収分に利子を付して納税者に返還することとなつてゐる。

沖繩本島の近況 日用品無料配給

沖繩本島最近の近況が沖繩復員第一船に便乗、過日浦賀に歸還した元沖繩郵便局長大塚延雄によつて齊され、同氏は米船ソイヤム、ラークスローレ（一千百トン）藤森大阪商船支店長其の他十八名の諸氏と共に便乗、過日浦賀に入港通信社絶後の業務報告のため上京したものであるが最近の状況を次の如く語つた。

本縣の政界新人の進出で乱立 定員の四倍突破

本縣の政界新人の進出で乱立、定員の四倍突破。政界正風後の本縣の政界は大混亂の中から進歩黨も五十名突破する乱立ぶ、自由黨六、社會黨五、共産黨一、立憲發正會一、各二名、他は全部新人と云ふ。日本新政會、地方同志會、農民同盟、新日本青年政治研究會、日進黨、無所属

大衆生活明朗化 業態の改善で値上げ 電髪料金は反對に値下

大衆生活明朗化、業態の改善で値上げ、電髪料金は反對に値下。昨年末から正月にかけて本縣護の立場から新料金定め、電髪料金は反對に値下。業態の改善で値上げ、電髪料金は反對に値下。

就いて 財産税に

就いて、財産税に。財産税は大いに値上り、結果から見れば口頭禪に終る。結果から見れば口頭禪に終る。結果から見れば口頭禪に終る。

立候補者資格證

市町村長が下附

政は政界肅清に關する總司のこの總選挙を通じて其に令部の指令を忠實に實施す平和的自由な議會を誕生せるため六日の閣議に於て

一、公職罷免指令に關する
勅令案

一、右翼團體解散に關する
勅令案

を附議、八日の定例閣議に於てこれを正式に決定する方針であるが指令該當者の立候補に特別を設け立候補者希望者には市町村長より立候補資格證明書を與へこれを以て指令該當者の再出を禁止する方法を執る事に一決し、細目は内務當局で検討することとなつた、即ち指令該當者を個々別々に立候補を禁止すると云ふ方法は立法上極めて困難な事情があるので其の腹裏の關係から立候補希望者に對し其の關係、志向等を最も正確に判斷し得る現地に於て、指令該當者か否かを的確に判別し、これに資格證を與へ立候補を認められた上は全く後顧の憂なく自由に逐鹿戦に入り得る様措置にせんとするものであり、これがため内務省では成案の出來次第近く全國の内政部長會議を召集し指令の趣旨並に政府の意圖するところを未端にまで徹底せしめ政界刷新の根本精神を生かし

分教場も活用

投票場五十ヶ所に増設
本縣内で立候補を目論むものはそれ／＼大なり小なり胸を痛め、大向ふまた對岸の大事見物でやい／＼いつの間にか今大總選挙は豫期以上の嵐に揉まれようであるところであるこの嵐の中か

乗出す本縣の各大工場が

化學肥料の製造と増産に

食糧増産の基礎となる化學肥料の重要性に鑑み本縣で轉換大工場の肥料工場化の線に沿つて計畫を進め、この實現を急いでいるが現在までの進捗状況及び計畫は

窒素

▲日本水素小名濱工場メタンノール製造施設の確切切替が九月までに完成の見込年産七万トン
▲東北興行野田工場窒素分離機二台を入れ九月ま

た二月から本格的とし年産一萬二千トン
▲錦町加里興業所目下試作品が約三百トンある年産千二百トン
日本化學三春工場は目下製品試験中年産未定
▲原石粉末田村郡下の豊富な石灰資源を利用し既に石城セメント神保工場

縣廳の行政機構改革

三百名の退職組 軍國主義者から整理

行政整理について内務省とことなる、整理事務は本縣の打合せに出席した三森縣一月より三月にかけて行は

九十万貫を集荷

榮養と満腹感

未利用資源を縣下から
含ませ、特に非梵食としての騰貴よりも開値で午券一位に販賣するの良心を持つ者は言ふてゐる

大越村の片倉化學、旭礦生活不安の脅威に晒されて八十萬貫の雜粉(米に換算六十萬貫を集める計畫業、武田礦業が操業中まゐる今日極めて慎重を期して二萬石)を作るため
た中村町の片倉化學も着手し四月までに二萬五千トン生産の豫定、このほかに錦加里、吳羽化學、磐城セメント四倉工場でも設備を完了し原石の入荷等を考慮するがこの際を期次第着手し總計十萬トンし軍國主義的な思想傾向の茶穀、密柑皮、未集荷の團を通じ各隣組常會にも呼び出も可能な見込みであるの對象となる
退職者には退職資金、退官給與金、名譽進級も行はれ平均千五百貫として縣下か

閭値の横行増長

統制の棒が取れ

終戦前後より閭行爲が始めに開店せる二十數名の露天り目下の處々々盛んの經行商人は最近少しくやみ値をを辿り殊に米、酒は申すに値下げしたかの感がある、及ばず生活必需品の内味増鮮魚類は一二割方安く買上り、油等は統制になつてゐる様になつたが其の外の商人が其れでも値上げに次ぐ値連は未だ／＼やみ値の味を上げて一般大衆は驚異を受忘れ兼ねてゐる、平市近郷一際最早自立のは野菜類に行かぬまでも公道に近い騰貴よりも開値で午券一位に販賣するの良心を持つ者は言ふてゐる

湯本町二於テ
横網 安藝ノ海
大關 東富士
外一一百余名
入場料税共拾五圓
観進元 菅野富
二月十二日夜 湯本座
三門 博
入場料税共六圓